

第 172 回浜田市教育委員会定例会議事録

日 時：令和元年 9 月 27 日（金） 13：30～15：05

場 所：浜田市役所北分庁舎 2 階会議室 1

出席者：石本教育長 藤本委員 宇津委員 金本委員 花田委員

事務局：河上部長 湯浅課長（兼室長） 市原課長 牛尾室長（欠席）

村木課長 外浦課長 平岡室長 原田分室長 佐々尾分室長

三浦分室長（欠席） 小松分室長（欠席）

書記：日ノ原係長 木谷主事

議事

1 教育長報告

2 議題

- (1) 教育委員会委員の視察研修について（資料 1）
- (2) 教育委員会学校訪問について（資料 2）
- (3) 浜田市教育委員会ボランティア表彰について（資料 3）

3 部長・課長等報告事項

4 その他

- (1) その他

1 教育長報告

石本教育長

すっかり秋らしくなり、朝晩、かなり過ごしやすくなった。そうした中、9 月に入り、小中学校の運動会、体育祭がそれぞれ開催された。委員方、また、部課長方にも手分けをして各学校に行っていた。本当にありがとうございました。

明日の石見幼稚園と長浜幼稚園の運動会で、幼小中の運動会、体育祭がすべて終了する。

特段事故等もなく、と言いたかったが、校長先生がリレーでアキレス腱を切られるということがあった。去年は雲雀丘小学校の校長先生、今年波佐小学校の校長先生がアキレス腱を切られた。

藤本委員

波佐小学校の校長先生は午前中はおられた。

石本教育長

最後のリレーで怪我をされた。

学校にはもう出ておられるが、まだ完治ではない。皆様方も気を付けていただければと思う。

アキレス腱の場合、激しい運動でなくても何かの拍子に切れるということもあるため、気を付けていただきたいと思う。

それではお手元の資料に基づいて1か月間振り返っていきたいと思う。

- ① 8月23日(金)第171回浜田市教育委員会定例会(2階会議室)
- ② 8月24日(土)浜田開府400年記念行事協賛事業『浜田川で舟あそび』(浜田川)

ちょうど市役所の裏側に浜田橋があるが、その前後を使ってのイベントであった。昔は新橋の向うの方にボートがあり、川遊びをされる若い人たちがかなりおられたなということをかすかに覚えているが、その後、度重なる水害等で、中々浜田川でゆっくり遊ぶといった様なことがなくなっていたが、浜田第二ダムもできて、安全で安心な川に戻ったということも含めて、川を使った遊びを復活させたいという思いを持っておられる有志の方々を中心に実行委員会を立ち上げられて、こういったイベントが開催された。

教育委員会も、生涯学習課長が委員の中に入れていただいた。具体的にはカヌーやサップとってボードの上に立ってパドルを漕ぐようなスポーツがあり、それらの体験会、レースが行われ、一日楽しく川を使った遊びをしたということである。併せて、色々な出店もあり、食べ物なども提供された。

少しPRが足りなかったのか、参加される数は当初の予定よりは多少少なかったかもしれないが、賑やかなイベントであり、今後の浜田川を使った活動の一つポイントになったと思っている。

- ③ 8月24日(土)令和元年度MOA美術館浜田児童作品展表彰式(世界こども美術館)

これは岡田茂吉さんの美術館が主催され、毎年開催しているMOA美術館はまだ児童作品展の表彰式があった。小学生の絵画と、書道の展覧会であり、今年は浜田市内で絵画が295点、書道が97点、出展された。その中で優秀な作品について特別賞が贈られた。第一席に選ばれた一番優秀な作品が全国展に送られた。

- ④ 8月27日(火)第5回石本正日本画大賞展・オープニングセレモニー(石正美術館)

私は松江に出張していたため代理で教育部長がオープニングセレモニーに出席した。

- ⑤ 8月27日(火)県市町村教育委員会連合会から、島根県教育

委員会への要望（島根県教育委員会）

県市町村教育委員会連合会から、島根県教育委員会への要望ということで、お手元にその写しを配布している。詳細については、また、ご覧いただきたいと思う。

大きく分けて、島根県、島根県教育委員会に取組をお願いする事項と県を通じて国へ強く働き掛けをしていただきたい事項の2つに分かれている。

教職員の負担軽減に関する事、それから教職員の定数の確保を中心として要望をした。

回答については後日文書で送られてくるため、またお伝えできればと思う。

それとは別に、要望の前日の、8月26日の島根県議会の中で、いわゆる子育ての関係の予算を確保するために、今、島根県で行われている少人数学級編成、小学校1年生でいうと、国の基準は35人学級であるが、島根県は30人学級としている。2年生から中学校3年生までは、国は40人学級だが、島根県では2年生が30人学級、3年生から中学校3年生までは35人学級にしている。それをするには、当然学級数が増えるため、10億円以上の経費をかけて県は単独事業として行っているが、その10億円というところに視点があたり、少人数学級編成にしてどれだけ効果があるのかということをも県の財政部署に指摘をされた。そのことが、27日の朝の新聞にたまたま掲載されていたため、追加で議題に入れて意見交換をした。

県教委としてもなんとか今の体制を堅持したいという思いを持っておられるが、県全体の予算枠の中でどこかで子育て支援の財源を確保するために、そういったことに手を付けなければならないということである。結論が出るのはまだ先の話かもしれないが、教育委員会連合会の今回の要望としては、是非、今のスタイルを堅持してほしいというお願いをしてきた。

そういったことが急遽あったため、ご報告しておく。

- ⑥ 9月2日（月）9月市議会定例会議・提案説明・全員協議会
- 9月3日（火）9月市議会定例会議・一般質問（1日目）
- 9月4日（水）9月市議会定例会議・一般質問（2日目）
- 9月5日（木）9月市議会定例会議・一般質問（3日目）
- 9月6日（金）9月市議会定例会議・一般質問（4日目）
- 9月9日（月）9月市議会定例会議・議案質疑

9月10日（火）9月市議会定例会議・総務文教委員会

9月13日（金）9月市議会定例会議・予算決算委員会（9月補正審査）

9月19日（木）9月市議会定例会議・予算決算委員会（H30年度決算審査）

2日から9月の定例会議が始まった。初日は提案説明、全員協議会があり、2日目からは一般質問が4日間あった。9日には議案質疑、10日は総務文教委員会があり、続いて13日に予算決算委員会、これは9月補正の審査である。それから19日に予算決算委員会、これは平成30年度決算審査、そういったものが行われた。表決は9月30日であり、およそ1ヶ月かけて行われてきた。

- ⑦ 9月7日（土）体育祭《一中、二中、三中、浜田東中、金城中、旭中、弥栄小・弥栄中、三隅中》

先ほど話があった様に運動会が始まった。資料のアンダーラインがしてあるところは私が行けなかったところである。アンダーラインがないところは短時間のところもあったが、それぞれ顔を出させていただいた。

- ⑧ 9月9日（月）（仮称）浜田歴史資料館検討会・会長報告（市長応接室）

（仮称）浜田歴史資料館検討会から、市長に会長報告ということで、5回開催された検討会について、その報告をされた。

この報告の内容については、10月10日に市議会議員方との意見交換会を経て、その後、市としての方針を決めるという様な段取りになっている。

- ⑨ 9月11日（水）令和元年度・少年の主張浜田市大会（浜田東中体育館）

委員方にもご参加いただいたが、今年度の少年の主張浜田市大会が浜田東中学校の体育館で開催をされた。

最優秀賞1席から優秀賞まで、特別賞4人が資料にあるとおり決定した。

また、昨日、県大会が大田市で開催され、浜田代表として三隅中学校の徳光さんが優秀賞を受賞されたそうである。

それから一昨日の晩、浜田大会で審査委員長を務められた山陰中央新報の西部本社社長とお会いして、この弁論大会について話をした。社長は以前も弁論大会の審査委員をやったことも

聴いたこともあるといった様な話をされた中で、昔に比べてかなり全体のレベルが上がっているのを感じ、ほとんどの生徒が内容をすべて暗記して原稿を見ずに発表しており、その態度については素晴らしいということ褒めておられた。

「浜田の子も頑張っているが中々県大会では最近上位になっていない」という話をしたら、「でも浜田はレベルが高いと思いますよ」というお話をいただいたので、少し喜んで帰った。

宇津委員にも審査していただき、ありがとうございました。

- ⑩ 9月14日(土) 運動会《原井小、雲雀丘小、石見小、長浜小、国府小、雲城小、今福小、旭小、三隅小、岡見小》

9月15日(日) 運動会《松原小、周布小、三階小、波佐小》

昨年は旧那賀郡の学校を中心に回ったが、今年は資料にある様に旧市内を中心に回り、旧那賀郡の小学校は行けなかった。来年は旧那賀郡を中心に回りたいと思う。

- ⑪ 9月15日(日) 第5回石本正日本画大賞展・表彰式(石正美術館)

今年も全国の30の美術系の大学から87の作品が出展され、その中で大賞、準大賞、奨励賞などの賞が選定された。

各大学3点以内という基準があるため、大学の中でも選考された作品であり、皆非常にレベルの高い作品が集まっていたという様な評価があった。

- ⑫ 9月17日(火) 浜田市立公立幼稚園 PTA 連合・要望(教育委員室)

これは毎年ある要望である。今日は印刷が間に合わず、要望書をお配りできないが、内容的には以前からの継続の要望が多い。項目の表題だけでいうと、まず、公立幼稚園の存続をお願いしたいという要望である。

次に、1クラスの園児定数の見直しと、サポート教員の配置の継続をお願いしたいという要望、定数の見直しというのは、実は4歳児、5歳児の2学年で25人以下の時には混合学級にするという内規があるが、その内規を少し緩めて20人くらいにしてほしいといったものである。県内でいうと、20人から25人くらいに大体設定されているが、浜田市は25人であり、それを20人にしてほしいということである。

それから、これも毎年要望があるが、預かり保育の実施と保育時間の見直しの要望、また、給食の実施についての要望があ

った。

それから、今、自然体験活動を幼稚園でも行っているが、その中でもスクールバスの利用をさせていただいている。年間 4 回使っていただいているが、回数を増やしてほしいといった様な要望があった。

また、建物の色々なところが傷んでいる。安心安全な環境づくりということで、建物だけではなく遊具も傷んでおり、使用できない遊具があるが、その対応をお願いしたいといった要望があった。

- ⑬ 9 月 25 日（水）令和元年度浜田市中学校駅伝競走大会（石見海浜公園）

委員方には出席いただきありがとうございました。

今年は区間新記録や大会新記録は出なかったが、各学校非常に頑張り、結果的には男女とも浜田第一中学校が優勝した。

- ⑭ 9 月 25 日（水）令和元年度「税に関する絵はがきコンクール」審査会（浜田合庁）

今年で 21 回目になる。はがきに啓発の絵を描くということで、小さいころから税に対する関心を持つ、納税意識を向上するといった様な目的で 21 年続けておられる。今、全国的にこういった取組が進んでおり、あちこちでやっておられるが、この絵はがきコンクールの発祥の地は島根県ということである。島根県が最初に始めて、それが全国に普及していったというお話を税務署長から聞いている。

浜田教育事務所管内でいうと、大田市だけが県税務署があるため抜けているが、江津市と浜田市の 2 市、それから美郷町、邑南町、川本町の 3 町の学校からの応募があり、602 点の作品が集まった。昨年が 424 点ということで、1.5 倍に近い作品が今年は集まっている。税務署長も大変喜んでおられた。

- ⑮ 9 月 25 日（水）第 50 回ジュニアオリンピック陸上競技大会出場者・市長表敬（庁議室）

第 50 回ジュニアオリンピック陸上競技大会に出場する中学校の 5 名の生徒が市長表敬に来られた。三隅中学校の岡本亮太郎さんは小学校からずっと全国大会に出場をされ、素晴らしい成績を出されている。岡本さんはこの前の練習で 10 秒 8 台を出したということで、その記録が出ると全国大会で準決勝くらいまではいけるのではないかと思う。中学校だと速い子は 10

秒5、6台で走るそうだが、ぜひ頑張ってもらいたいと思う。

例年、川崎市にある日産スタジアムという素晴らしい陸上競技場で大会があるが、今年はラグビーのワールドカップが開催されている関係で、同じ川崎市の轟陸上競技場で開催される。

⑯ 9月27日（金）中学校学力向上対策意見交換会（第一中学校）

定例会終了後、夕方から中学校の校長先生方と学力向上対策意見交換会ということで、私と牛尾室長と中学校の校長先生方で色々と話をする。これが1回目ということで、これから何回か開催したいと思っているが、今日のところは家庭学習の時間をもっと増やすにはどうしたらいいのかということに絞って意見交換をしたいと思う。

またどんな意見があったかは次回お話しできればと思う。

⑰ 9月28日（土）運動会（石見幼、長浜幼）

明日はもしかしたら雨が降るかもしれないが、降ったら体育館でするのか。

石見幼稚園は雨が降ったら石見小学校の体育館で開催する。長浜幼稚園は日曜日に順延となる。

また時間があれば参加したいと思う。

1か月間の報告は以上である。

今のところで、質問等はあるか。

日ノ原係長

石本教育長

質疑応答

藤本委員

2点お聞きしたい。まず一つは、県の少人数学級の関係であるが、決定ではないということだが、いわゆる教育予算を削減したいという様な方向で提案されたということである。現在の状況は、毎年改善されてきていると思う。クラスの定数を少し減少してということはいつから始まったことか分からないが、それを今になって予算が寂しいからどうのこうのというのは教育の大きな後退に繋がると思う。県の教育委員会、市町村教育委員会連合会からも要望をしていただいているということであるが、これだけは県も金がないからということで方向を見直すということは、私は間違っていると思う。強く存続を要望したいと思う。

もう一つは、先般9月11日に少年の主張浜田市大会が開催され、私は毎年出席をしてお話を聴いている。前から少し違和感があったのだが、今年は何人かの人を誘って、一緒に話を聴いてもらい、後で意見交換をした時に、私が思っていたことと同じ様な意見が

出た。

どういふことかというといふと、10人が発表をするが、無理に審査をしなくても良いのではないかという意見が出て、私もその様な気がする。ただし、県大会があるため、県に一人は推薦しないといけないうことであれば、それだけは選定し、例えば、二席以下については無理に決めなくても良いと私は思っていたが、一緒に会話した方が同じようなことを言われていたため、これは今後の一つの課題として、それが本当に良いのか悪いのかということに関係機関で意見交換をしていただきたいと思ひ、申し上げる。

宇津委員

少人数学級の問題で、藤本委員が言われるとおりで、確かに、財政の担当は、経費をかけてそれがどれだけの効果があるのかと、そういう言い方で迫ってくる。財政担当はそういう実際の場面をご覧になったことはたぶんないと思ふため、一度でも現場を見てほしい。そういう考えでいると、何もかも効果がないものは削れということになる。

また、これは島根ならではの教育施策であるか。

石本教育長

そうである。

宇津委員

そこをもっと大事にしていかないといけない。「もっと島根はこういうふうにお金を費やしてやっていると、もっと全国から島根においで」と言えるくらいの意気込みがあつても良い様な気がする。そういう意味でも、市町村教育委員会連合会からも強く要望していただきたいと思ふ。

藤本委員がいわれる様に、後退することが心配である。

金本委員

実際に、小学1年生で35人を定数としたら、それはすごく大変で、理想的には20人くらいがいい。

花田委員

人数だけでなく、障がいのある子が通常学級に入ったりする。

石本教育長

現場を知っているものからすると考えられない。それは教育関係者は皆訴えている。この制度を県が導入してから5年か6年経つと思ふが、元々、少人数にすることによって学力が上がるだろうという推定を基にやっていたが、この数年間にどれだけ学力が上がったのかという様なことを財政サイドはどこでも言うわけである。その辺のところ、効果が今から出るのだということ強く言い続けるということだが、そこをところを理解していただきたいと思ふ。

この件については県議会議員の方々も、現行を堅持するのが筋であるという思ひを持っておられるため、県議会議員の方々にも

藤本委員

お願いをしていきたいと思っている。

関連するが、私は教育委員として個人で思い思いのことをしているが、例えば4月の教職員の異動の時に、浜田管外から来られる校長、教頭、管理職の先生のおられる学校へは個人的にお伺いして様子を聞かせてもらう。

そうした時に、校長先生方が驚かれるのは、浜田市教育委員会は全部の学校を訪問されるのですねという意見を聞くことがある。浜田市教育委員会は当然のこととして行っているが、例えば松江市辺りは行っていないということであり、何年も来られたことはないということであった。

教育長や宇津委員が言われる様に、県の教育委員会もそうであるが、まずは学校現場を、30人学級、35人学級がどのような現場であるかということを見ていただくことが大事なことであると思う。

石本教育長

その制度によって、浜田市内では今年度に限っていうと小学校は13学級、中学校は4学級増えていて、計17人の先生が加配になっており、その経費をすべて県が単独で負担をしている。17人の先生がプラスになるとそれなりの費用がかかる。浜田だけで17人であり、県内となると当然100人以上の先生が加配になるということで、10億円の経費が発生している。

ただ、金額だけではないということをご理解していただければと思う。

先ほど藤本委員から、弁論大会について、審査をしなくてもいいのではないかというお話があった。

確かに、世界こども美術館の展覧会の中にアンデパンダン展という展覧会があるが、それは、無審査、無評価の展覧会であり、出展された作品は優劣をつけずすべて展示をするといった展覧会がある。

弁論大会は順位を付けることで多少賛同する生徒の励みになるというところもあるかもしれないし、県大会に出る生徒を決めなければならないということもある。その一人を決めれば良いというご意見である。

藤本委員

後の人は、それぞれの学校のクラスで予選会を経て、それから学校での予選会を経て、出てくるわけなので、やはり厳粛に私たちは受け止めるべきだと思っている。

そこを特定の人が評価をするということはおかしいと思うの

石本教育長	は、私だけではなく、私がお誘いした方からも出ている。
宇津委員	本日の夜、中学校の校長先生方にお会いするため、そういった意見があったということは伝えておく。
藤本委員	私は、審査は大切だと思っている。言われる様に学級弁論から始まって、またその前にも原稿を作成する行程がある。その段階から積み上げていって、学校代表となるわけである。当然、学校の代表となればそれなりの自覚をもって参加すると思う。それに順位を付けて評価をすることは、むやみやたらに争いをけしかけるということはいけないと思うが、自然なかたちで他の人と争うということは大変なことではないかと思う。
石本教育長	そうすることによって全体のレベルを上げていく。私も審査をしていて、昨年よりもレベルが高いなと思ったし、それぞれの審査員が評価を発表するわけだが、全体のレベルが上がっているという意見もあった。そういう様にレベルを上げていかないと、県大会に出てもなかなか厳しいと思う。
各委員	私は、受け止め方は十人十色であり、正しい答えはないと思う。それを踏まえて、その中で順位を決めることはおかしく、本来なら順位はないはずであると思っている。皆素晴らしいと思う。
石本教育長	主催は中学校校長会であるため、またお伝えする。
各委員	その他はよろしいか。
	特になし。

2 議題

(1) 教育委員会委員の視察研修について（資料1）

日ノ原係長	先般、11月の中で候補日の検討をさせていただいた。その中で、事務局側で選定をさせていただいた。この資料は先週送らせていただいたが、その後20日（水）に議会の日程が入りそうだという情報が入ったため、大変申し訳ないが、15日（金）で話を進めさせていただければと思うため、ご了承いただきたい。
	資料の3番目のところで、今回は5つのテーマを挙げていただいた。①コミュニティセンターの具体的な取組事例、②キャリア教育の先進的な取組事例、③学校利用を積極的に行っている資料館、博物館等の取組事例、④少子化対策を踏まえ地域政策と連携した学校教育の取組事例、⑤ICT教育の先進的取組事例と挙げていただいた中で、事務局で候補地等の選定をさせていただいた結果、今回は資料にある3つのものについて候補として提案させていた

だきたいと思う。

まず、①コミュニティセンターの具体的な取組事例については、視察先として山口県周南市役所で、視察内容は生涯学習推進プランについて、市長部局において公民館を所管し、教育委員会において社会教育を所管している実態についてということを中心にしている。

②キャリア教育の先進的な取組事例としては、視察先として、雲南市教育委員会で、視察内容としては、キャリア教育の推進について、教育委員会としての推進計画、小中学校の現状等の意見交換としている。

③学校利用を積極的に行っている資料館、博物館等の取組事例としては、視察先として古代出雲歴史博物館で、視察内容は、学校利用について、博学連携プログラム、ミュージアムスクール、出前授業などである。以上、3か所を提案させていただく。

①、③について、担当課長から補足説明等あればお願いしたいと思う。

村木課長

①コミュニティセンターの具体的な内容について、山口県周南市である。ここは先般、総合教育会議にも出てきた、生涯学習推進プランを策定している市である。併せて、市長部局に地域交流センターということで、まちづくりが自治公民館を所管し、教育委員会には生涯学習課を有している。

また、社会教育アドバイザーの長畑先生も、周南市の社会教育やまちづくりに大きく関わっておられ、長畑先生からも推薦があった。移動時間としては2時間程度である。

外浦課長

③学校利用を積極的に行っている資料館、博物館等の取組事例として、視察先は古代出雲歴史博物館である。これは県の施設だが、特に学校利用、先生方に対する手引などを作成されており、県の文化財課と協議をする中で推薦を受けた。

日ノ原係長

②については牛尾室長が欠席であるため、私から補足として、雲南市は元々キャリア教育について力を入れている市であり、キャリア教育支援室なども設置されており、また、浜田市よりも1年早くキャリアパスポート活用・研究事業の取組をしているというところで、候補として挙げている。

この3候補の中から、本日のところで視察先を決めていただければと思う。よろしく願います。

石本教育長

確認であるが、日程は11月15日（金）に絞るということであ

日ノ原係長
石本教育長
日ノ原係長
石本教育長

るか。

そうである。

20日は全員協議会か。

全員協議会が入る可能性がある。

それでは日程は委員方のご都合も事前にお聞きしているため、11月15日（金）に決定したいと思う。

それからテーマについては前回5つ挙げたが、その中で色々この近辺で視察先を事務局で当たったところ、④⑤は結局なかったということか。

日ノ原係長
石本教育長

④は中々近くにはなく、⑤は日程的に難しかった。

①②③のところは適当な視察先が15日に設定できるということか。

日ノ原係長
石本教育長

そうである。

4番で挙げられている3つの視察先から決定していききたいと思う。特にこの3つの中で意見があるか。

藤本委員
石本教育長
藤本委員
宇津委員

多数決でどうか。

割れるかもしれないが、第一候補があるか。

私は①が行きたいと思っている。

私は③が時期としては適しており、そういうものを題材とした学校教育も大切であると思う。ただし、県の施設であるため、出雲市の教育委員会、出雲市の学校に連携しているのかどうか、聞いてみればいいことだが、その辺りが本当に参考になるのかと心配はしている。

石本教育長
外浦課長

それは県に確認をしているか。

確認した。年間、出雲の小中学生も多く来館されるそうであり、そのあたりはしっかりやっておられる。

石本教育長

県の施設であるため、出雲市だけでなく、松江市からも他からも来ている可能性はある。

外浦課長
宇津委員
金本委員

そうである。

それでは私は③を希望する。

私も急を要する点では③かなと思う。②③を1日で両方行くのは無理か。

石本教育長
金本委員

検討してみたが難しい。

昨日テレビで土器か何かを作ってたのを見たが、あれは古代出雲歴史博物館ではなかったか。

石本教育長

子どもが作っていたか。朝の番組か。

金本委員 石本教育長	夜の番組である。 私の見た朝の番組は、子どもが3人くらいで土器を作っていた。 埴輪を作る。
金本委員 花田委員 石本教育長	そういうのではなく、クラスで作っていた。 私は②の雲南市を希望する。いつか行きたいと思っていた。 実は私は、①の周南市に行きたいと思っていた。多数決でいく と①になるが、③の学校利用については、まだ正式には歴史資料 館をどうするかということを決定はしていないが、今ある資料館 の活用を考えた時にも学校利用は非常に大事なことになるので、ぜひ 行きたいという思いもあるが、一つ選ぶということになると①を 希望する。 特に今社会教育アドバイザーの長畑先生が関わっておられると いうこともあり、向こうの事情も良くご存知のため、細かいところ の色々な話を聞けるのではないかなという気がしている。 2時間15分もかかるか。
日ノ原係長	インターネットの地図上では、車での所要時間が2時間15分 であった。
石本教育長	多数決でということになると①になる。①以外の宇津委員と金 本委員はよろしいか。
花田委員 石本教育長	私は②の雲南市が希望である。 周南市と勘違いしていた。では、多数決だと②は1人であるた め、花田委員に①か③のどちらかを選んでもらう。
花田委員	直接話を聞いて分かると思うのが①の周南市であると思う。博 物館は、こういうプログラムをやっているとかいうことは、資料 だけでも分かることではないかと思う。
石本教育長 各委員 石本教育長	それでは、今回は①の周南市に決定したいと思うがよろしいか。 全会一致で承認 ありがとうございます。それでは11月15日(金)の委員方の 視察については①コミュニティセンターの具体的な取組事例とい うことで、周南市役所へ視察に参りたいと思う。 恐らく、また朝が早くなるのではないかと思うが、そのことも 含めてよろしくお願ひしたいと思う。

(2) 教育委員会学校訪問について (資料2)

日ノ原係長

学校訪問の日程については前回調整をさせていただき、10月24日（木）、午後から教育委員会定例会があるが、その日の午前中にさせていただく。

訪問の対象幼稚園としては3園あり、美川幼稚園、長浜幼稚園、石見幼稚園の順番で参りたいと思っている。

訪問者については資料裏面をご覧ください。今年度から幼稚園の関係業務は子育て支援課が教育委員会の併任ということで行っているため、教育部の前木参事と教育総務課の河上副参事を含め、合計11名で訪問したいと考えている。

表面に戻っていただき、4訪問内容だが、先に園内の視察を15分程度行い、残りの時間をヒアリング、意見交換というかたちで考えている。

毎年度、幼稚園については具体的な意見交換テーマを定めず、幼稚園の経営方針や園行事等を含む園児の活動の様子について事前に説明をいただき、その後、委員方から意見質問等をしていただき、意見交換というかたちで進めているが、今年度は具体的なテーマを定めるか、テーマなしで進めていくのか、この点について本日のところでご審議いただければと思う。よろしくお願ひしたい。

石本教育長

幼稚園の学校訪問だが、10月24日（木）の午前中に設定されている。スケジュールについては資料にあるとおり、9時から美川幼稚園、その後、長浜幼稚園、石見幼稚園の順番である。

事務局からあった様に、例年、幼稚園の場合は意見交換のテーマは特設せずに、幼稚園から経営方針を聞いた後、色々困ったことなど聞きながら意見交換をするというかたちをとっているが、例年どおりで良いのか、それともテーマを決めて行った方がいいのか、そういったことを決めてほしいということがあったが、その辺はいかがか。

藤本委員

特に決めていない方がいいと思う。限られた時間である。

石本教育長

例年どおりでよろしいか。

各委員

全会一致で承認

石本教育長

それでは、特設意見交換のテーマは具体的には設けないが、園長先生から園の経営方針を聞いた後、意見交換をするということで進めたいと思う。

(3) 浜田市教育委員会ボランティア表彰について（資料3）

市原課長

資料3に推薦一覧の両面刷りが一枚と、ボランティア表彰の要綱を付けている。

一覧表を見ていただくと、この度は4校から3名の個人と4団体について、学校長から推薦があった。

周布小学校からは、個人の辻野一正さん、団体の周布1町内子ども見守り隊の推薦があった。辻野さんについては15年以上活動をされ、今はパトロール隊からは退かされているが、見守り隊については引き続き行われている。周布1町内についても、長年町内として見守り活動をしていただいているということで推薦があった。

続いて、美川小学校からは、個人の森昌昭さん、三浦敬雄さんの推薦があった。両名ともに10年以上にわたって、学校の長期休業中を中心にパトロール活動をしていただいているということである。

裏面をご覧ください、弥栄小学校からは、団体の弥栄地域少年補導員会、弥栄女性の会の推薦があった。両団体とも所定の日に校門等に立っていただき、30年以上声掛けをしていただいたということである。

最後に、三隅小学校からは、団体の三隅小学校見守り隊の推薦があった。登下校時の見守り活動とあいさつ運動を7年以上継続して行っていたということである。

今年度の表彰について、以上7件が表彰対象ということで提案させていただきたいと思う。ご審議をお願いします。

石本教育長

学校教育課から、今年度の教育委員会ボランティア表彰について、個人3名、団体4団体について学校長から推薦があったということで提案があった。

教育委員会の中で決定することになっているため、委員方のご意見を伺いたいと思う。

資料を見た時に、活動期間が、10年であったり、30年以上であったりとバラバラであるが、要綱上は5年以上の活動があれば表彰の対象となっているということで間違いはないか。

市原課長

そうである。要綱の第4条第3項にある。

石本教育長

毎年、学校から推薦のあったものについてはそのまま教育委員会の中で承認をされている。委員方からご意見があるか。

各委員

特になし。

石本教育長

それでは学校から推薦のあった個人3名、団体4団体について

<p>各委員 石本教育長</p>	<p>今年度の浜田市教育委員会ボランティア表彰に推薦するという ことによろしいか。 全会一致で承認 ありがとうございました。それでは、提案のとおり決定とする。 例年、表彰式が各学校であるが、最初の年は多かったため、委員 方にも手分けをして出席してもらったことがあるが、最近はまだ 数が多いので、私が行かせていただいているが、それによろしい か。</p>
<p>各委員 石本教育長</p>	<p>全会一致で承認 それでは私が行かせていただく。</p>

3 部長・課長等報告事項

<p>河上部長</p>	<p>令和元年9月市議会定例会議 個人一般質問一覧表（資料4） 9月議会での一般質問の一覧を載せている。21人の方が一般 質問をされ、そのうち教育委員会関係の質問をされたのは15 人だった。54項目あり、各項目及び最初の答弁について載せて いる。またご覧いただければと思う。</p>
<p>湯浅課長</p>	<p>行事等予定表（資料5） 本日以降から、10月末までの予定表となっている。それぞれ 委員方にご出席いただきたいものについては○印を付けてい る。またご覧いただければと思う。</p>
<p>牛尾室長 （代理：市原課長）</p>	<p>第5回（9月）市校長会資料（資料6） 資料の1番最後、開府400年記念事業小中学校作文コンテス ト審査結果というものを付けているが、小学校最優秀、国府小 5年の矢野さん、中学校最優秀、旭中3年の官澤さんというこ とで2名が最優秀となった。各学校で取り組んでいただき、た くさんの応募をいただいた。大変ありがたいと思っている。 この2名については、資料Cに浜田開府400年記念式典概要 をつけているが、10月13日の式典において、第2部の15時半 から小中学生による作文の表彰及び発表とあり、こちらに出席 いただき、発表される。都合がつけば、足を運んでいただけた らと思う。 資料6の3ページの4番目、協調学習研修会について、10月 17日（金）となっているが、10月18日（金）の間違いである</p>

村木課長

ため、訂正をお願いする。以前からご案内しているが、浜田市が取り組んでいる協調学習の取組と振り返りの発表が金城中学校と旭中学校である。お時間があれば、来ていただければと思う。

島根県議会 文教厚生委員会 所管事項実地調査について（資料7）

島根県議会の文教厚生委員が石見公民館に視察に来られた報告である。8月28日に益田にお越しになり、29日の午前中は三隅町の老人クラブの視察をし、29日の昼から石見公民館に来られた。

議員の方が6名と、地元選出議員の大屋議員と随行の方が14名来られた。

内容としては、公民活動の中でとりわけ高齢者の健康づくり、生きがいくくりということで、公民館で読み聞かせを行っている。図書館の宇谷館長も出席し、引きこもりがちな高齢者が社会参加をするきっかけとして読み聞かせに取り組んだという、平成30年度の石見公民館の活動の視察に来られた。

意見交換の内容は資料のとおりであり、やはり同じ社会教育施設である公民館と図書館との連携というところが、それがひいては福祉につながるということで関心を持たれたということである。

令和元年度全国公民館連合会表彰について（資料8）

令和元年度全国公民館連合会表彰を、この度、雲城公民館の岡本修治館長が受けられた。

岡本館長は平成17年4月、合併前から雲城公民館で働かれており、15年経過している。現在も地域づくり、まちづくりのため、公民館館長として在籍しておられる。

特に、今回、功労者表彰であり、永年というわけではなく、特に貢献したということで表彰を受けた。中四国で2名の受賞であり、島根県からは平成27年度以来の受賞である。浜田市としても初めてである。

館長自身、浜田市公民館連絡協議会の会長や、県の公民館連絡協議会の副会長を努められ、この度、県と一緒に推薦をしたところである。

令和元年度 各中学校における夏休み共育推進事業の取組（資料 9）

はまだっ子共育推進事業の夏休みの取組である。2つ3つピックアップしてお話しようと思ったが、色々整理するとすべての項目において、各公民館、コミュニティセンター化の関係でクローズアップされているため、必要項目だけを挙げさせていただいて、これだけ多くの学校を夏休みに児童クラブや子どもたちと一緒に、今日も新聞で今市公民館の大屋館長が載っていたが、やはり、学びというところの意識をもって活動がされている。

そういったことからこれだけ多くの活動をして、特に大きな事故もなく、夏休みが終わったという報告をさせていただければと思う。

特に連携団体の項目で、地域の方や団体、高齢者クラブ、図書館、まちづくり委員会など、なるべく多くの人と関わって、事業展開していくことが公民館主事としての社会教育の力量かなと思っている。

もう1つの、資料をご覧ください、その根幹にあるのが、このはまだっ子共育推進事業である。地域学校協同活動と家庭教育支援活動、この2つの柱を基にして、派遣社会教育主事の先生方を中心として事業展開をしている。裏面には子どもたちに身に付けさせたい力ということで、関係者の方にヒアリングをしながら4つの分類をして、さらに子どもたちに向かう様に、公民館主事の方々が、それぞれ創意工夫をしながら事業展開をしているところである。

第 13 回 浜田市総合スポーツ大会各競技開催日及び会場（資料 10）

今年度は10月14日（月）に総合開会式を行う。それぞれ開催日や競技種目、会場を載せている。

サン・ビレッジ浜田アイススケート場の開始時期について（資料 11）

条例上では10月10日からとなっているが、昨年度も冷凍機の故障で緊急な改修をした。やはり、冷凍機が1号機2号機と

あるが、それを使うためには外気が高いと、どうしても機械に負担がかかってしまう。そういったことから今年度は開始を11月23日に変更し、外気が低い時期にオープンすることで、機械への負担を軽減し、年間を通したスムーズな運営を見込みたいということで、指定管理者の北陽ビルからも申出があったため、この度その許可をした。

最初に、氷を張るのに3週間くらいかかるため、実際は11月の頭くらいから機械を動かし始めて、氷を張る。実際10月10日オープンであれば、9月に氷を張らなければならないが、これだけの暑さだと中々機械に負担がかかるということがあり、開始時期の変更をした。

第28回浜田ー益田間駅伝競走大会（しおかぜ駅伝）の開催について（資料12）

師走の風物詩となった第28回浜田ー益田間駅伝競走大会、いわゆるしおかぜ駅伝である。これについては色々ボランティアの方々力を得て実施している。

参加チームの具体的な数は分からないが、浜田市も旧市町でそれぞれチームを編成している。

今日、ご報告するのは、実はコースが900m延長されて42.195kmになるということである。具体的には第4区、益田の区間が100m延長され、最後9区、旧しまねお魚センター前のところが800m延長され、総トータルの走行距離が42.195kmになるという変更があった。

令和元年度旭公園水泳プールの利用状況について（資料13）

浜田市には4つのプールがあり、うち一つが屋外の旭公園水泳プールである。

夏休み期間中、7月20日から8月20日まで一般開放させていただき、市内外から約1,000人の方がお越しになり、このプールを利用された。

県外の方も多く来られて、いわゆる交流人口もあるため、今後も引き続きプールの維持管理をしたいと思っている。

旭町木田地区住民による中央図書館視察について（資料14）

これは、社会福祉協議会と図書館が連携して、市の敬老福祉

外浦課長

乗車券を使ったことがない方に、あえて使ってもらい、大型スーパーが最終目的であったが、その道中に図書館に寄って、施設の披露をさせてもらい、宇谷館長が対応した。

見学者のコメントにある様に初めてお越しになった方や、「これからは寄ってみようかな」というコメントもあった。図書館としても、旭図書館もあり、ラブックも運行していることも紹介でき、あらゆる場面で本との出会いの場を今後も大切にしていきたいと思う。

浜田市立石正美術館特別展『第5回石本正日本画大賞展』授賞式の開催について（資料15）

この度授賞式を9月15日に行った。出席者として42人とあるが、43人の間違いである。訂正をお願いしたい。

全国から30校、87点の作品が集まった。特別賞は大賞1点、準大賞2点、奨励賞5点ということで、大賞には大阪芸術大学4年の大槻ひろかさんの「移ろい」という雲を描いた作品が受賞された。

なお、この展示は10月14日まで行っている。

写真は授賞式の模様と展示の模様である。

第51回浜田市美術展の開催について（資料16）

明日、9月28日から10月6日まで開催される。世界こども美術館創作活動館で開催される。出品数は188点で昨年度より50点余り増えている。

なお特別賞として浜田市長賞とあるが、それぞれ4つの部門ごとに分かれおり、裏面に絵画第1部、写真の部、書第1部、書第2部の作品を載せている。

なお表彰式は10月6日に行われる。

また、児童・生徒書写展が10月11日から18日までと、児童・生徒図画展が10月25日から30日まで、世界こども美術館で開催される。

第1次浜田開府400年企画展 瓦からみる浜田城（資料17）

浜田市郷土資料館で開催している。9月15日から12月22日まで開催される。

特に平成28年から浜田城の発掘調査のため、瓦等が多く出

ており、5,000点以上、重量にして800kg以上が出土している。その中から約60点を展示している。

(仮称) 浜田歴史資料館検討会の検討結果について (資料 18)

9月9日に検討会の会長から文書で検討結果報告があったため、内容について報告させていただく。

まず、検討結果としては、整備の方向性については、大半の委員が賛同ということであった。アンケートの回答として賛成が9人、条件付き賛成が10人、合計で19人であった。賛成とした意見としては、やはり郷土資料館の老朽化に伴い、建て替えをとという意見、また、先人たちが命を賭して伝えてきた歴史的資料に触れることは必要であるといった意見があった。

条件付き賛成の意見としては、建設費・運営費の圧縮が必要であるといったことがあるという意見、また、資料館建設は賛成だが、目的、優先順位を含め再度検証し、整備案を決めるべきという意見もあった。反対の意見としては、他に優先すべき事項があり、例えば、観光事業に注力した方がよいという意見があった。また、その他の意見として、検討会が判断するには時期尚早であるといった意見もあった。

整備場所については3案提示していたが、A案とC案に分かれた、A案は御便殿周辺への整備、C案は世界こども美術館との複合利用であるが、それぞれ7名ずつが1位に挙げられた。また、1位2位を合算すると、最多がC案で16人、次点がA案で11人であった。

A案を選ばれた方は、城山公園や浜田城資料館、日本遺産外ノ浦との一体的な活用が可能であるという理由、C案を選ばれた方は、財政的な理由で少ない経費で整備・運営でき、世界こども美術館との一体的な活用が可能という理由が挙げられた。

また、建設費、運営費については、「できるだけ圧縮すべき」の意見が多かった。

会長意見であるが、整備についておおむね理解を得られており、整備を推進すべきと考えるところ。ただ、市民にとって愛される資料館はどのような施設なのかという視点は忘れてはならず、そのために、整備の必要性と効果については市民に丁寧に説明すること、整備後も外部識者による継続的なモニタリング体制を構築し、その結果を公表することといった要望があ

った。

以降の資料については、これまでの検討会の概要である。

浜田城資料館の開館日及び開館式について（資料 19）

昨年の 10 月から改修工事を行っていたが、9 月中に完了する予定となっており、来月 10 月 12 日開館予定である。

また、同時に開館式を午前 10 時から 10 時 30 分まで予定している。

資料に資料館のイメージ図を載せている。

なお、この開館式については委員方にご案内をさせていただいている。ぜひ、出席をお願いしたい。

平岡室長

第 123 回島根県同和教育推進協議会連合会研究集会浜田ブロック研究集会開催要項（資料 20）

開催日時、テーマ等は添付のチラシにあるとおりである。

鳥取県琴浦町立赤碕文化センターの西村敦郎館長に講師をしていただく。令和元年度、2 年度は浜田市が浜田ブロックの事務局を担当する。浜田ブロックの構成市町は浜田教育事務所管内の 3 市 3 町である。各市町の人権同和教育推進協議会が共催となっている。

各市町の運動団体の方や行政関係者等が参加する。現在参加者の集計を行っているが、例年よりも午前中の研究集会の参加者が多いのではないかと思う。

人権同和教育について、ともに学びたいと考えている。

石本教育長

以上、資料に基づいて報告をいただいたが、その他資料のないところで各課長から報告事項はあるか。

各課長

特になし。

石本教育長

たくさんの資料を続けて説明があった。お気付きの点など、委員方から質問意見等があれば願います。

質疑応答

藤本委員

資料 19 で説明いただいた、資料館の開館式の案内は事前にはいただいていたか。

外浦課長

一昨日、案内を送付させていただいている。

石本教育長

今日くらいには着いているのではないか。遅れて申し訳ない

が、送らせていただいている。10月12日(土)の10時からである。よろしくお願ひしたい。

また、この後の協議会が16時くらいに終わる予定であり、その後、浜田城資料館が12日に開館ということだが、今日は内覧会ということで委員方には事前に30分程度見ていただく予定である。都合がつく方は、お願ひしたいと思う。

資料18で(仮称)浜田歴史資料館検討会からの報告があった。会長がまとめられた1枚ものと、今までの検討会の内容をコンパクトにまとめられている。これを全部見ていただくと5回の検討会の様子が分かると思うが、委員方にはまたお時間のある時にご覧いただけたらと思う。これについては、また時間をとって委員方のご意見をいただかなければいけないと思っているため、併せてよろしくお願ひしたいと思う。

その他質問等あるか。

各委員

特になし。

4 その他

(1) その他

村木課長

公民館の冷暖房費についての報告である。10月から消費税の改定に関して、公民館は各自治区でまだまだ統一されていないことはあるが、今回、冷暖房費においても三隅自治区は外税、その他の自治区は内税という様なことがあり、改定を機会にまずは消費税を統一しようということで、内税というかたちに改正をしていきたいと思っている。

三隅は外税で216円であったが、消費税が改定されることにより金額が下がることになるが、今後コミュニティセンター化に向けても色々な面で統一していきたいと思っている。

他の公民館と同様に内税に変えていくということでご報告させていただきます。

石本教育長

三隅自治区の公民館の冷暖房費のみの変更か。

村木課長

そうである。

石本教育長

生涯学習課長から報告があったが、ご承知おきいただきたいと思う。

事務局からその他何かあるか。

各課長

特になし。

石本教育長

委員方からご報告やご質問があればお願ひする。

各委員 | 特になし。

次回定例会日程

定例会 10月24日(木) 13時30分から 北分庁舎2階会議室

次々回定例会日程

定例会 11月19日(火) 13時30分から 北分庁舎2階会議室

15:05 終了